



# オペレーショナルインテリジェンス

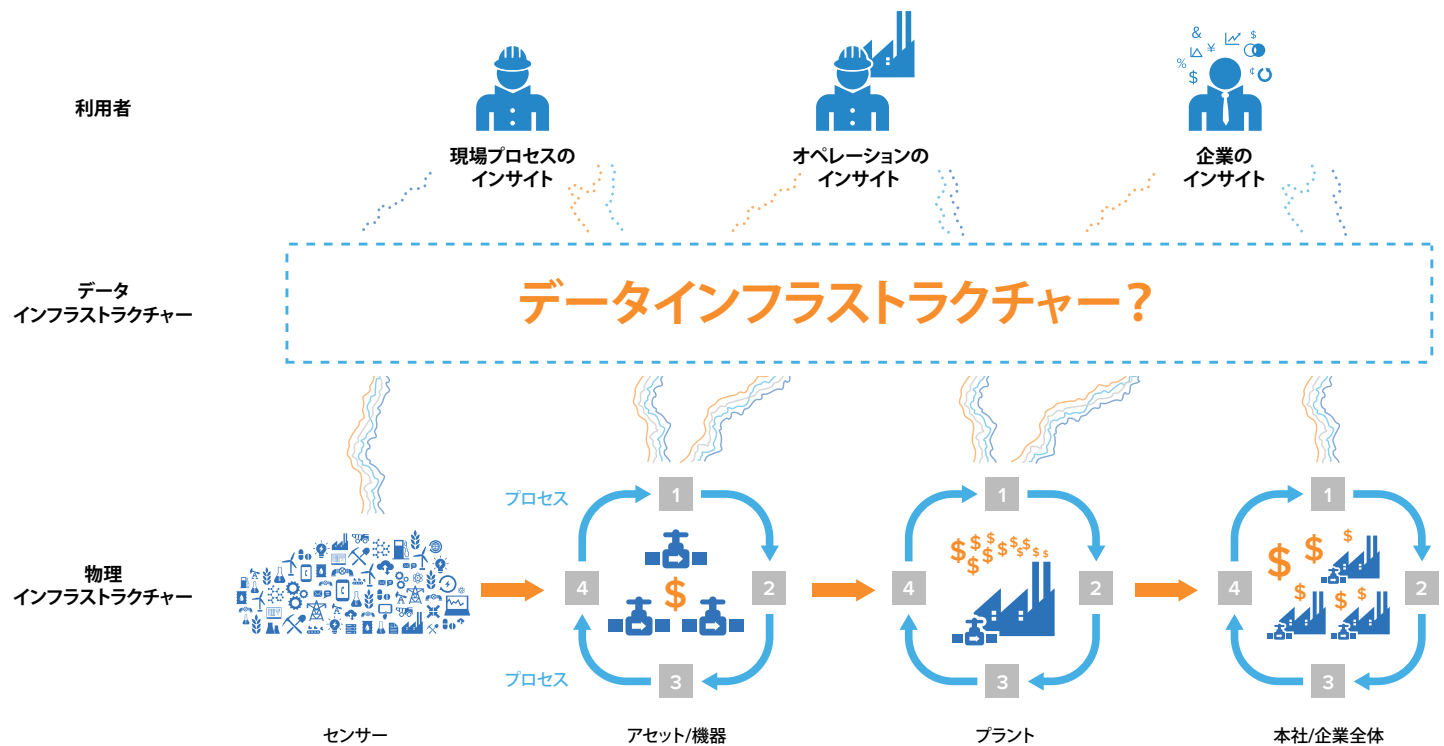
データので、産業オペレーションを生まれ変わらせる



**OSIsoft**<sup>®</sup>  
is now part of AVEVA

# はじめに

企業は毎年、物理インフラストラクチャーに巨額な資金を投入しています。そのため、企業全体の業績に対し、それらインフラストラクチャーが大きく貢献していることが重要です。鍵となるのは、アセットの健全性、可用性、全体的な効率。これらはビジネスの根幹、すなわち業務プロセスの効率、品質、安全性に直接影響を与える差別化要因となります。したがって、企業全体でリスク、パフォーマンス、コストのバランスを図り、従業員の誰もがあらゆるアセット、システム、現場のデータにアクセスできることが非常に重要です。それがリアルタイムの意思決定の手助けとなり、ビジネスインテリジェンスの実現をもたらすこととなります。インフラストラクチャーのデータにアクセスできれば、単なるデータが情報となり、それがナレッジとなって、物理インフラストラクチャーのパフォーマンスを最適化するアクションへとつながります。



戦略的アプローチは進化しています。オペレーションソフトウェアを活用して、企業の物理インフラストラクチャーを補完できるようになりました。このアプローチにより、オペレーター、データサイエンティスト、現場監督者、ビジネスマネージャーなど、さまざまな関係者がデータ駆動型の情報を使って問題を解決し、拠点、現場、および本社レベルで意思決定を行うことができます。このオペレーショナルインテリジェンスは、企業がオペレーショナルエクセレンスを追求できるような体制を整え、継続的な改善に向けたマインドセットをもたらします。



# オペレーショナルインテリジェンスがもたらす ビジネスインパクト

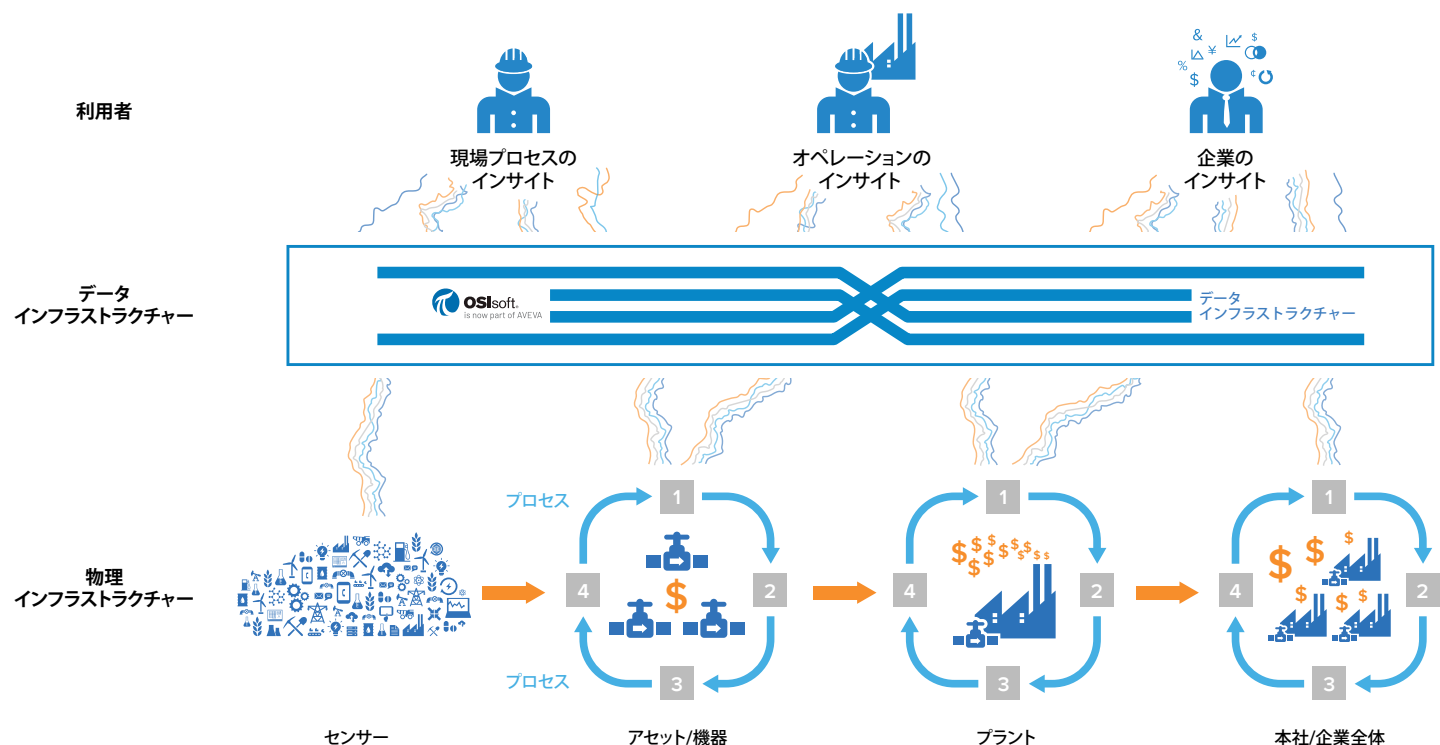
オペレーショナルインテリジェンスの影響は、さまざまなかたちで現れます。過去データ、リアルタイムデータ、および予測的洞察が手元に揃っていれば、より多くの情報に基づいて、システムの最適化、障害の防止、運用環境の改善などの意思決定が行えるようになります。

- エンジニアやオペレーターは、その瞬間、瞬間の傾向を確認し、リアルタイムでアセットやシステムの健全性を把握できます。そのため、状態の変化、運用上の制約、障害が発生した場合にすぐに対応することが可能です。
- 管理者は、複数のアセットやシステムから高精度のデータにアクセスして取り纏めることで、パフォーマンス、生産性、コストを算定できます。エンジニアは情報に基づいた決定や変更を行い、生産性を向上させることができます。
- 経営者は、企業目標の達成を念頭に、全体の健全性と生産性を監視し、情報に基づいた意思決定を行って物理・人的・財務リソースを最適配分することができます。



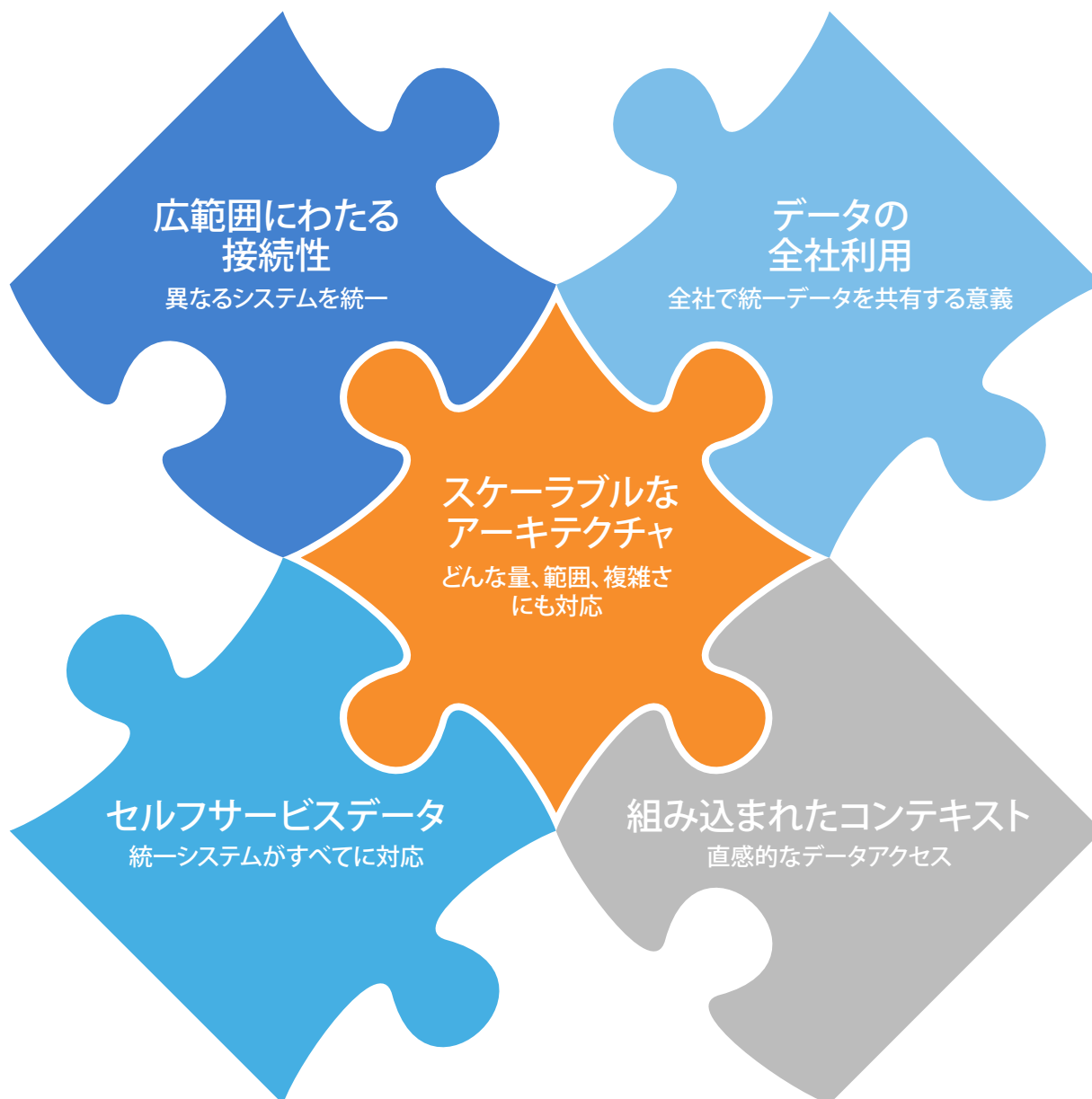
# オペレーショナルインテリジェンスを実現する インフラストラクチャーアプローチ

センサーベースの共通データインフラストラクチャーは、オペレーショナルインテリジェンスの基盤です。データインフラストラクチャーはデータのサイロ化を防ぎ、オペレーションコンテキストの中で一貫性のある情報を提供し、データガバナンスをサポートし、全体的なデータアクセシビリティを向上させます。また、人とスマートマシンやシステムがつながることで、人と物理インフラストラクチャーの両方への投資効率を最大化し、リアルタイムの意思決定を最適化させることができます。これにより、人々は現在進行中のオペレーションパターンを生成し、将来のオペレーションパターンを予測するために必要な洞察を得ることができます。



## オペレーショナルインテリジェンスを実現させる要素

企業のニーズを満たし、オペレーショナルインテリジェンスを実現させるデータインフラストラクチャーアプローチには、必須となる重要なソフトウェア機能があります。このアプローチでは、どのシステムやセンサーからでもデータを収集でき、部署や担当を問わず、組織内の誰にでも意味のある方法で情報を共有・展開できるシステムが必要です。



# オペレーショナルインテリジェンスから エンタープライズインテリジェンスへ

オペレーショナルインテリジェンスが影響を及ぼすのは、オペレーターやエンジニアの意思決定だけではありません。ビジネス上の意思決定にも、その影響は及びます。オペレーションの重点は生産に係わるKPIに置かれていますが、ビジネスの重点は、ステークホルダーに価値を提供するために、売上と収益性に置かれています。オペレーショナルインテリジェンスをさらに戦略的なものとするには、オペレーションデータをビジネス情報と組み合わせましょう。そうすることで、ビジネス上の意思決定をサポートできます。この「エンタープライズインテリジェンス」、つまりビジネスデータとオペレーションデータを組み合わせることで、企業はコスト、価値、投資収益率に関する最も重大な決定を下すことができます。



データインフラストラクチャーに基づいたアプローチを用いたオペレーショナルインテリジェンスにより、高品質で信頼性のある情報がビジネス情報と統合されます。この「エンタープライズインテリジェンス」により、オペレーション担当者とビジネス担当者はそれぞれの組織のニーズに合わせて、自分たちの仕事のやり方を最適なものに変革できます。

## OSIsoftについて

「データへのアクセスは人々の世界を変えることができる」という信念のもと、OSIsoftはセンサーから送られるリアルタイムのデータを取得して保存するシステムを開発しました。それがPI System™です。「オペレーションに携わるすべての人とデータとオペレーションをつなげる」という唯一の目標を掲げて、30年以上にわたりPI Systemを提供してきました。今日、PI Systemは社会の基幹インフラストラクチャーに組み込まれており、世界最大のデータインシニアチブの一部にも採用されています。フォーチュン誌選出のグローバル500社に名を連ねる産業組織のうち、65%はPI Systemを活用してオペレーション変革を成し遂げています。弊社の顧客ベースは発電、石油・ガス、公益事業、金属・鉱業、輸送、公共施設などのセクターの企業や組織で、多くはフォーチュン100社やフォーチュン500社に選ばれています。OSIsoftは、創業当初からの使命を忠実に守り続けています。顧客企業のあらゆる地点で業務を行う人々が、いつでも、どこでも、必要な方法で、異なるオペレーションソースから高精度データを取得できるよう、イノベーションを追求し、ソフトウェアを開発し続けます。